



次年度に向けて

本日で学年末考査が終了しました。1年間の学習の総まとめとなります。中学校と比べて、1年間で習う事項が格段に増えていると感じたと思います。暦は、「雨水」となりました。雪が舞う日はあれど、除雪車の出勤回数は減ってきています。「春は遠からじ」で、3年生は、各々の進路を決定し、まもなく3月1日に卒業式を迎えます。

本校では、2年に進級するにあたって、クラス替えを行います。馴染んだクラスと別れる戸惑いはあるかと思いますが、新たな出会いに期待し、新たな“自分”にも出会って欲しいと思います。

18歳で成人？主権者教育！

2月5日（火）に、主権者教育の一環として本校地歴公民科の大竹先生からお話をいただきました。民法の改定により、2022年から成年年齢が18歳に引き下げられます。その頃には1学年の皆さんは20歳になりますが、2年下の世代までが成人とみなされる社会に変化することになります。皆さんにはどのような責任が求められることになるのでしょうか。

「成年と未成年の違いは何か」「学校の体制をどうすべきか」というような課題に対して、一人ひとりが自分の意見を書きました。答えがない問いに対して、『自分の意見』をしっかり持っていることが非常に大切です。急激に変化する社会に対応できる力を、高校生活を通して養っていきましょう。



3学期授業風景コーナー（合唱発表）

2月15日（金）に、1組・2組ともに音楽の授業で合唱の発表がありました。声もしっかり出っていて、非常にすばらしい合唱でした。【手紙】【Beautiful Days】【WAになっておどろう】の3曲を歌いました♪♪♪

